



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長テーマ 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 「深めよう絆 繋げよう奉仕の和 ウィ・サーブ」

第 1543 回例会 2021~2022 No.6

ガバナー L 大山恭範 公式訪問合同例会



と き 2021年9月29日(水)
合 同 例 会 14:15

と ころ 名古屋文理大学文化フォーラム

ホスト 稲沢緑ライオンズクラブ
津島ライオンズクラブ

大山恭範地区ガバナープロフィール

所属クラブ 3R1Z 一宮ライオンズクラブ

生年 月日 1960年(昭和34年)7月22日

現 職 (有)KAN 代表取締役

● ライオン歴

2001年 入会

2012~13年度 会長

2016~17年度 会計

2017~18年度 3R1Zゾーン・チェアパーソン

2019~20年度 334-A地区第2副地区ガバナー

2020~21年度 334-A地区第1副地区ガバナー



第4回理事会報告

と き 2021年9月14日(火)11:00

ところ 各自Zoom

出席者

L中川 L小川 L西尾 L吉江 L土本
L御子柴 L伊藤 L高橋 L坪内 L野崎
L田中(秀) L青山 L佐藤(尊) L石黒 L久保
L矢田 L岡村 L下田 L山中

議題

と き 2021年9月14日(火)11:00

ところ 一宮商工会議所ビル403・各自Zoom

議 題

1. 第1回 FWT 委員長会(8/20)報告

会員増強・会則・FWT委員長 L佐藤 彰

伊藤千寿代コーディネーターを迎え委員長会が行われた。31センチ以上でパーマやカラーを付けていないヘアドネーションをお願いしたいとお話があったこと、さらに大山ガバナーの強い発信力の元、各クラブにおいて会員増強を推進することのお話があったとの報告がありました。

2. 献血奉仕例会(8/25)決算報告

献眼・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚・糖尿病予防委員長 L下田心也

収支決算の報告があり審議承認されました。

3. アラート・環境保全社会福祉委員会(9/14)報告

アラート・環境保全社会福祉委員長 L矢田賀也

一宮市消防署吹奏楽団や木曾川高校プラスバンド部のお力添えをいただき、音楽を通して笑顔を届ける事業を開催すると報告がありました。

大野極楽寺公園に石碑を寄贈すると報告がありました。

4. 65周年準備委員会(9/14)報告

65周年大会 委員長 L石黒 薫

来る2022年2月22日にグランコート名古屋において65周年記念式典を開催することが報告され、予算について、組織構成表について、アトラクションや記念誌について議論が行われました。

5. その他

- ・中日総合サービス広告について
一宮商工会議所 創立100周年記念広告
二つの枠を購入し4LCにて共同で掲載すると報告をしました
- ・稲沢緑 LC 結成40周年記念式典大会は中止となりました
- ・地区FWT セミナー-ZOOM セミナーに変更となりました

第1542回例会報告

と き 2021年9月14日(火)12:15

ところ 一宮商工会議所ビル403・各自Zoom

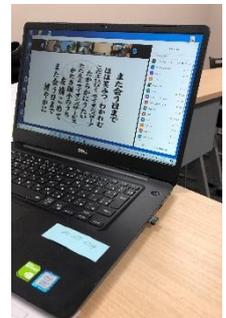
9月第1回例会は、本来なら、納涼例会の予定でしたが、緊急事態宣言が発動されているため、中川会長が就任されて、初のZOOM例会が、開催されました。

通常どおり中川会長により、開会のゴングが鳴らされ、例会が始まりました。

国歌斉唱、ライオンズ・ヒムの斉唱、ライオンズの誓い、クラブスローガンの唱和など、通常例会と同様、プログラムは進められました。

会長挨拶では、この時期だからこそ、ライオンズクラブとして、できることがあるのでは、と、ライオンズクラブの存在意義の大きさを話されていました。

その後、誕生日のお祝い、委員会報告があり、65周年事業の経過報告など、されました。そのあと、幹事報告、テールツイスター報告、「また会う日まで」の斉唱、ライオンズローアの後、閉会のゴングで締めくくられ、今回のZOOM例会は終了しました。



例会担当 財務委員長 吉江有希子

不動産賃貸業

マル京株式会社

一宮市猿海道2-1-3 ☎23-3111

L 牛田 寛

(有)衛藤興業

一宮市大和町北高井字千束59

TEL (0586) 68-4488

L 衛藤 雅一



(株)カラーズ

一宮市丹陽町外崎字久古476-1

TEL (0586) 48-4611

L 大島 基睦



一宮市西島町3-2 ☎72-3733

L 大島 八重子



★10月・11月の例会会場が変更になります★

◎10月第1例会

10月13日(水) 京都日帰り例会は変更なし

◎10月第2例会

10月27日(水)

一宮商工会議所 大ホール

⇒ ザ・グランドティアラー宮に変更

◎11月第1例会

11月10日(水)

ザ・グランドティアラー宮 ⇒ 一心に変更

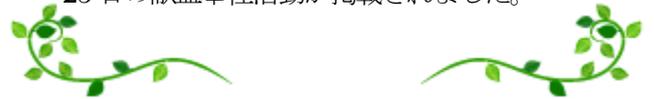
◎11月第2例会

11月24日(水) 紅葉例会

一心 ⇒ 都ホテル岐阜長良川に変更



▲9月17日 中部経済新聞
「ロータリークラブ ライオンズクラブ」に8月25日の献血奉仕活動が掲載されました。



詢 KAN
一宮市栄1丁目5-16
TEL 25-0029 FAX 24-8614
L 大山 恭 範

尾西信用金庫
一宮市筆屋1丁目4番地3号
TEL (0586) 45-1141
L 岡島 啓一



第1542回例会ドネーション・ファイン		
合計 226,000 円		
◎ドネーション		69,000 円
L 中川幸男	初めてリモート例会が出来た喜び	10,000
L 土本和佳	〃	5,000
L 高橋 敬	〃	3,000
8月誕生日	L 五藤一樹 他 11名	36,000
9月誕生日	L 国本実 他 4名	15,000
◎ファイン		0 円
ドネーション・ファイン累計 合計		295,000 円

次の理事会 (第7回)	
とき	2021年10月12日(火) 11:00
ところ	一宮商工会議所ビル 4階 402
次の例会 (第1544回)	
とき	2021年10月13日(水) 12:30
ところ	平安神宮 迎賓殿
集合場所	ロータリー時計(旧織姫像跡地)
	7時50分 8時00分出発

活動するライオンズ

バリアフリー船で行く鵜飼観覧の夕べ

岐阜西ライオンズクラブ



1985年、環境庁（現・環境省）が「名水百選」を選定した。そのうちのひとつである岐阜県長良川中流域は、鵜飼（うかい）が行われていることでも有名である。長良川の鵜飼は日本で唯一皇室御用とされており、宮内庁式部職の鵜匠（うしょう）が執り行うのが特徴だ。使用される鵜飼用具一式122点は国の重要有形民俗文化財に指定されている。

岐阜西ライオンズクラブ（杉野正次郎会長／93人）では、1998年から「鵜飼観覧の夕べ」を開催している。伝統ある鵜飼を観覧してもらおうと市内や近郊のスポーツ少年団や福祉施設の方々、施設入院患者などを招待している。青少年や社会的ハンディキャップがある方々に地域の歴史や先人たちが守り続けてきた文化のすばらしさを感じてもらい、夢や希望を持ってもらうことが狙いだ。当クラブの活動をきっかけに、2001年にはバリアフリー船が登場。車いすやベッドのままでも乗船出来るようになった。昨年はコロナ禍でやむなく中止。今年も開催が危ぶまれたが、関係者の協力を得て8月10日に開催した。バリアフリー船3艘（そう）を貸し切り、車いすツインバスケットボールチーム「岐阜エクスプレス」と看護大学の学生、合わせて46人を無料招待。我がふるさとの誇る伝統行事、長良川鵜飼を体験してもらった。

例年であれば、出航後に船内で弁当を食べながら長良川の風情を楽しむところだが、感染対策のため弁当はお土産として持ち帰ってもらった。



感染対策を講じ高校生に出前講座

兵庫県・龍野ライオンズクラブ



龍野ライオンズクラブ（西川光明会長／62人）では毎年、高校に赴き「出前講座」を行っている。これは2004年から実施している当クラブの主要事業の一つである。例年、社会のさまざまな分野で活躍されている講師を招き全体講演と看護、介護、建設、デザイン、電気、情報、経済の分野ごとに行う分科会の計2時間の構成で実施している。講師に社会の先輩として自らの経験談などを話していただくことで、高校生の今後の進路選択に役立ててもらおうという狙いがある。2021年も3月5日に県立龍野北高等学校で2年生全員（239人）を対象として本事業を実施した。

新型コロナウイルスが猛威を振るった2020年は海外との交換事業やライオンズクエストなどの青少年育成事業が中止となった。高校生が将来や自分の人生について考えるきっかけとなる出前講座はぜひ実施したいとクラブでは考えていた。今年の全体講演では講師が英語で講演を開始。生徒にどよめきが走るも、真剣に聞き取ろうとする姿に感銘を受けた。その後、日本語に切り替わった講演では英語で説明した部分もカバーしていたため、生徒たちも全体の内容が把握出来たようだった。「社会生活を有意義に生きる」という日本語でも難しい内容であったが、感想文では生徒たちがかなりよく理解していることが分かり、驚いた。

担当の先生から「基調講演から分科会まで、講師の先生方の授業は生徒たちにとって道標になったようです。ある生徒が、この出前授業を受けて看護師を目指すことを決めました！と話しており、その後は何事にも一生懸命取り組む姿勢になっています」との報告を受けた。また「今の子どもたちには、何らかの『きっかけ』となる仕掛けが必要であるとつくづく感じます。先日の出前講座は大変良い機会となったと感謝しております」との言葉もいただいた。クラブの誇る事業として今後も継続していきたい。